

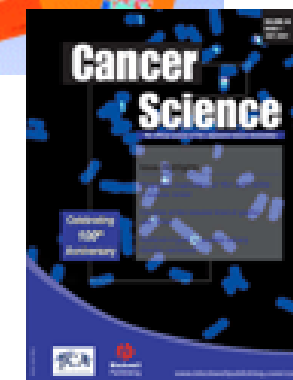
Cancer Scienceの試みについて

Cancer Science Editor

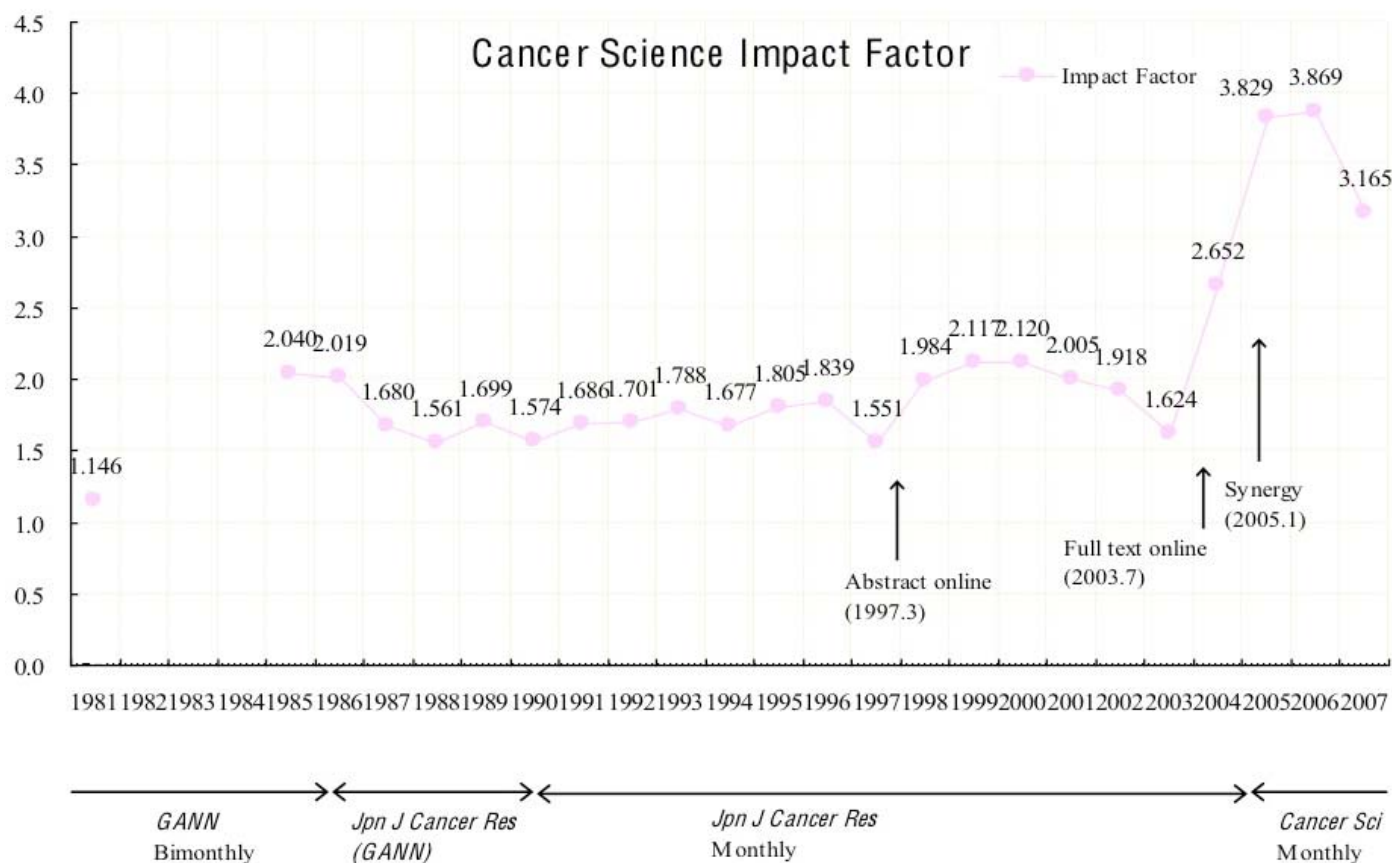
宮園 浩平

CASの歴史

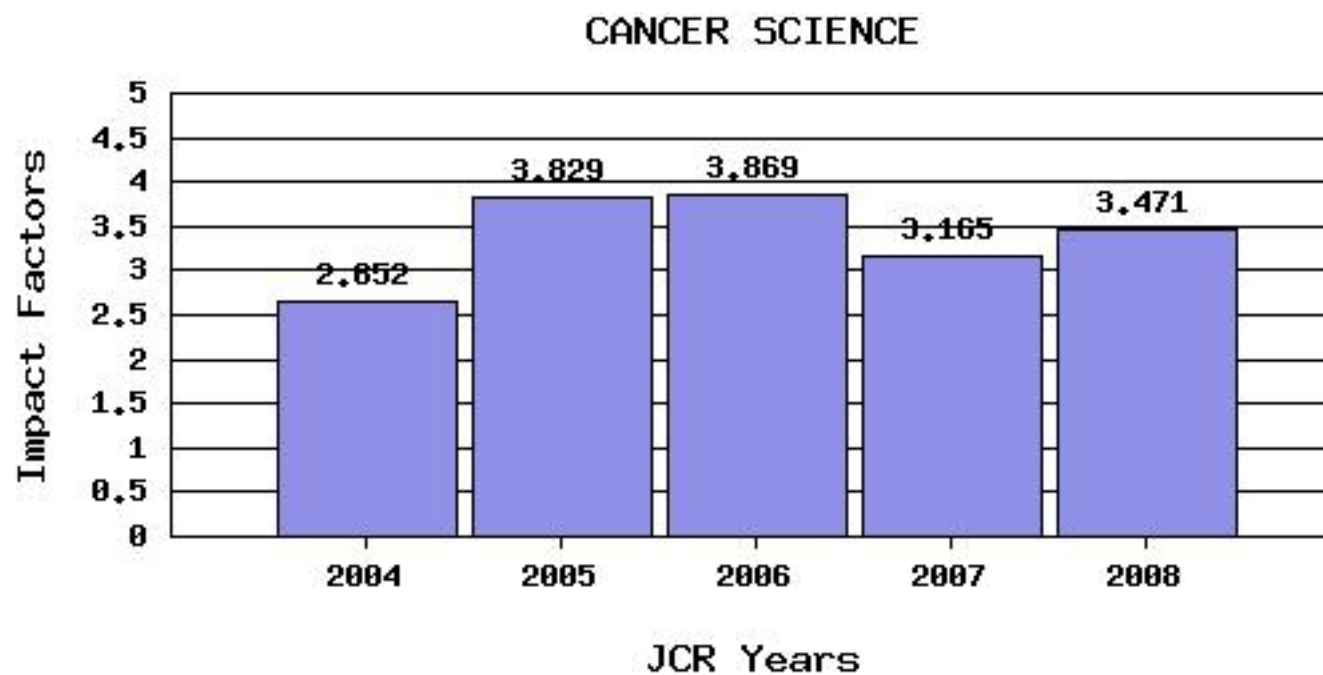
- Cancer Scienceは日本癌学会の機関誌である。100年を超える歴史を持ち、がん研究に関する雑誌では世界でも最も長い歴史を持つ雑誌の一つである。
- 山極勝三郎博士によってGann (Japanese for cancer) として1907年に発刊された。
- 1985年に Japanese Journal of Cancer Research と名称変更。
- 学会の改革案の一環として会員の合意のもとに2003年よりCancer Scienceと再度名称変更した。新しい名称は雑誌の取り扱う研究分野、方向性を明確にするものとして受け入れられた。



インパクトファクターの推移



インパクトファクターの推移



会員のための学会誌

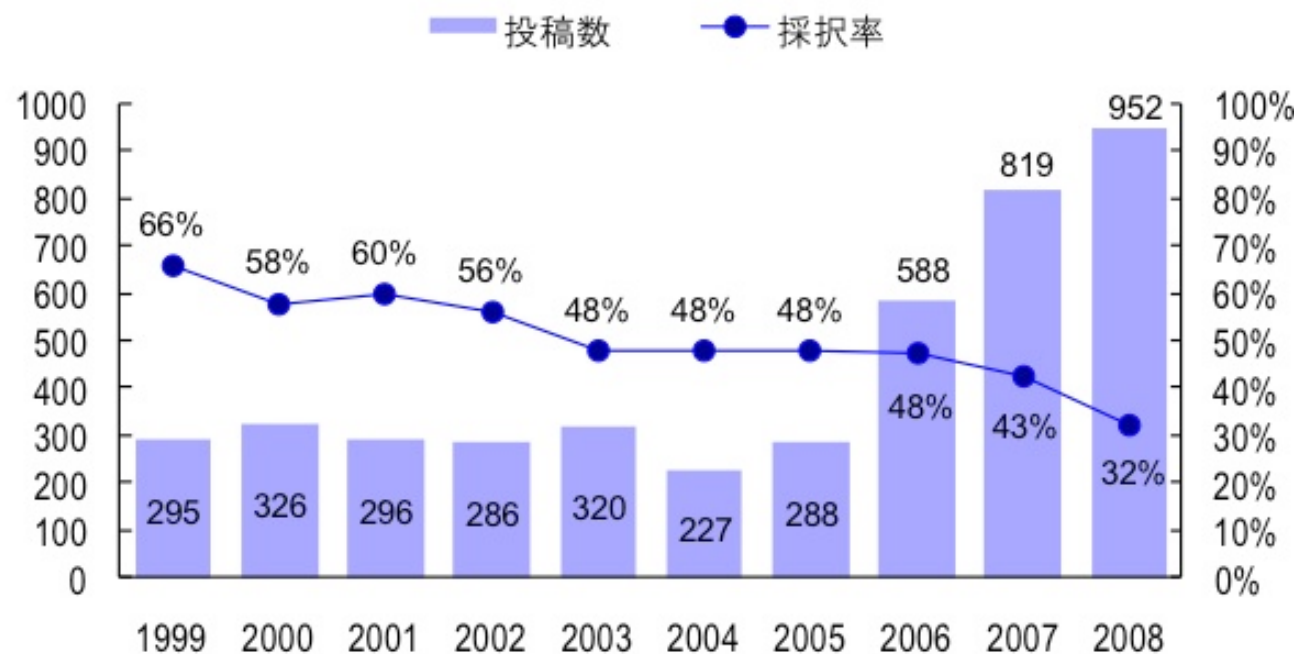
- **Cancer Science** は日本癌学会会員 (16,000人) のための雑誌として広く受け入れられてきた(現在は雑誌の全会員への配布は中止し、**on-line**アクセス権のみとしている)。
- 日本癌学会の評議員はその任期中(3年)のうちに最低1編の論文を発表しなければならない。評議員になるためには最低1編の論文が**Cancer Science**に発表されていることが必要である。
- **Cancer Science**に論文を発表していることが癌学会奨励賞の選考のうえで考慮される。

Wiley-Blackwell 社との協力関係

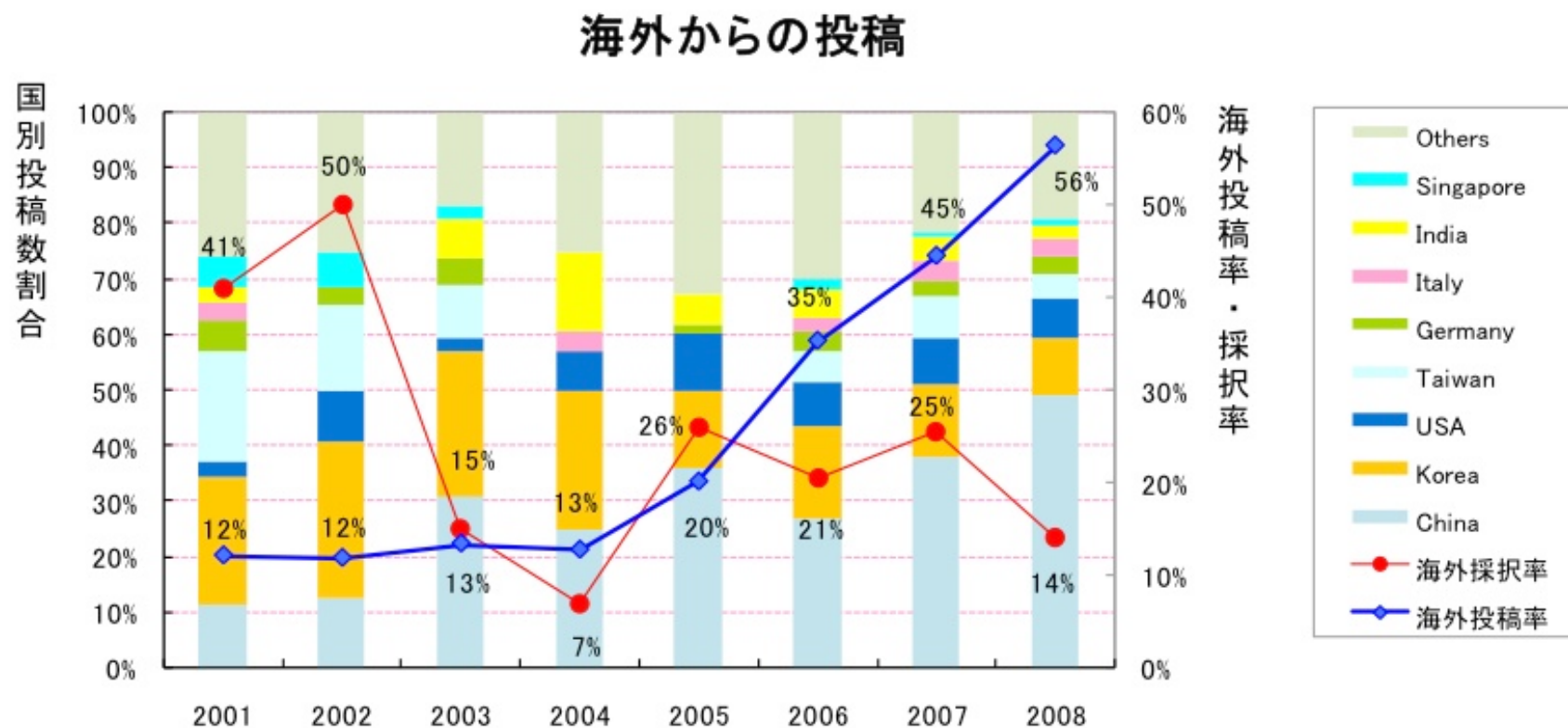
- 2005年より*Cancer Science* はWiley-Blackwell 社から発刊することとなった。
- Wiley-Blackwell 社の協力により
 - Manuscript Centralを用いたonline 投稿とpeer review。
 - Wiley InterScienceでのonline version の公開とPubMed とThomson Scientific SCIへのリンク。
 - 名称変更のあと2年間はすべての論文のダウンロードを無料とした。現在は、出版後12か月経過した号に掲載の論文のダウンロードが無料化されている。

投稿数の急速な増加

年別投稿数と採択率



海外からの投稿数の急速な増加



最近の動向

- インパクトファクターの急激な上昇、4年に亘って3点以上を維持。
- 投稿数の急激な増加(海外からの投稿数の増加)と、それに伴う採択率の低下。
- ページ数の増加、論文のダウンロードされる回数の増加。
- オンラインシステムManuscript Centralの導入により、論文の投稿～ First decisionまで約23日、再投稿～ final decisionまで約3日、採択～ Early Viewまで約40日、採択～冊子体出版まで約80日で安定。
- Wiley-Blackwell 社の協力により海外若手研究者による論文からCAS論文賞を選抜、日本癌学会に招待・発表。